

ましみずの里

No. 9

R2. 8. 7

校長

海老洋一

～自ら学び ともに伸びる～ 自ら考え表現し合い・自ら開きわかり合い・自ら挑み高め合う子どもを育てます

1 学期55日間、「自ら学び、ともに伸びる」をめざした高揃っ子！！



1年生

私は、入学式でみなさんに3つのことを話しました。一つ目はみなさんが年長さんとしてやってきたこと、できたことを小学校でもしっかりやりましょう、二つ目はわからないことは、しっかり聞きましょ、三つ目は友だちをたくさん作りましょ、いろいろな人と仲良くなりましょということでした。みなさんどうでしたか？私はとてもがんばっていたと思っています。高揃小学校でくらしをつくっていくために、いろいろなことを先生達や上級生から教えてもらっていましたね。特に私は1年生が一番がんばったことは、先生や上級生の話をしっかりと聞くこと、そして聞いた話の意味を考えて、わかったことをみなさんは自分でやろうとしたことだと思います。そうなのです。自分で聞いて考えて、わかったことをやってみたらこそ、できるようになったことがたくさん増えてきたのだと思います。2学期も続けてください。わたしは、「1年生はすっかり高揃小学校の一員になったなあ。」と感心しています。

2年生

2年生はクラス替えがあり友達が増えました。新しい友達と、新しい教室で1学期の学習を毎日がんばりました。特に私は、「66名の1年生のお兄さんお姉さんになったという自覚、気持ちが2年生を成長させているなあ。」と感じてみていました。2年生は、学校探検をしている1年生へ学校の地図をプレゼントしましたね。コロナがなければ、2年生が1年生と一緒に学校をいろいろ探検して教えてあげる学習ができたのに、今回はできませんでした。そこで2年生は考えました。「1年生が見ても読んでもわかるように、各教室の説明が書いてある地図をプレゼントしよう。」となったのですね。そのように自分達で考え、1年生のこともわかって考えようとする力が、実は2年生一人一人にもしっかりと国語や算数、音楽や体育、図工の勉強にも大いに発揮され始めていると私は思っています。特に、漢字をたくさん覚えて書く力や筆算をたくさん学習して「楽しい、大好き」という声が聞かれるくらいがんばっていましたね。このように学習にしっかりと取り組んでいる2年生は、2学期からも1年生のとてよ手本にもなっていくと思います。



3年生

1・2年生でできていたことをしっかり続けて、さらに3年生として中学年になったという気持ちを持って1学期を過ごしたみなさん。本当は1クラスでスタートの予定でしたが、2つの教室に分かれて、全ての教科で全員が、自分の力を伸ばそうとがんばった1学期でした。どうしてそう感じたかという、私がいつ教室に行っても、3年生はその学習時間で何をがんばるのか、一人一人が一生懸命に取り組んでいることがわかるのです。その1時間の授業に集中しているのです。特に、理科の風の働きで動く車の実験では、風の力の大きさが変わると動く車の様子がどう変わるのか、一生懸命に考えながら楽しく学習していました。そしてそれは学習だけではありません。時間を守ってくらしをつくること、自分の係や当番活動をするときは、責任をもって最後まですることの大切さをわかりながら守ろうとしたり、チクチク言葉を減らしていくにはどうしたらいいのか話し合っていたり、その時その時にすべき行動はどうしたらよかったのか、みんなで考えてくらしをつくっていました。2学期からの成長も楽しみな3年生です。



4年生

新しい友達2名が増えて、44名でスタートした4年生。学校の教育目標を受け、4年生は「自分の考えを表現し・友達の考えを受け入れ、考え・苦手や新しいことに挑戦する」学年の目標から、この一年間、「どんな自分になりたいか、そのためにどう過ごしていくといいのか」を真剣に考えて学習をスタートさせました。私が見ている授業では、自分の考えを発表するのは苦手な心があるけれど、勇気を出して堂々と発表している姿、さらに、友達の意見や考えをよく聞くことで、自分の考えと同じところや似ているところ、ちょっと違うところや全く違うところ等、いろいろな比べ方で聞き、自分の考えの幅を広げている姿から4年生の成長を感じた1学期です。また、こんなこともありました。先週の七夕集会の準備の時、4年生の集会委員が集まって何かを話していました。耳を澄まして聞いてみると、「七夕の願い事を書く用紙をどのタイミングで他の学年に渡したらいいかなあ。」と話し合っていて、さらに「その学年のことを考えると、この時間は迷惑なんじゃないかな。」と、その学年の都合や立場に立って考えている姿を見ることができました。実際にその後、その紙を渡しに行ったと思うのですが、「その時も勇気を出してその学年に自分達の思いを伝えたのだろう。」と想像しています。4年生一人一人が学年の目標に向かい、なりたい自分をめざした毎日の積み重ねが、今の4年生の姿です。2学期からの成長も楽しみです。



5年生

高学年になった5年生41名のみなさんは、学年だよりのタイトル「For The Team」=人やものと共に、くらしをチームでつくるよさを感じて、安全で笑顔で過ごせる学級づくりをめざして、3年生と同じように2つの教室で学習をスタートしました。「今までできていたことができない」という感染予防のための新しいくらしづくりの中で、逆にこんな時だからこそ必要な約束やルールは何か、そして決めたルールの中でどうすれば楽しく、わかる学習を積み重ねられるのかを考え始めた5年生。つまり『高揃小のくらし全てが自分たちの学習』という思いや意識が芽生え始めた1学期の5年生です。その中で、去年の卒業生にプレゼントできなかった貼り絵を「今年の1年生はイベントも少ないし、ちゃんとお祝いしてあげられていないから1年生にプレゼントしよう!」と1年生に贈ったり、6年生の委員会プレゼンテーション学習から「委員会活動の内容がマイクなしでもはきはきして伝わった、6年生の堂々と発表している姿がかっこいい、来年は私も今の6年生のようになりたいです。」と6年生の姿に憧れの気持ちを強く持ち始めたりした5年生です。また、6月中旬から始まった学校の自然環境を見つめ直す総合の学習の中で、グラウンドのましみずを復活させたのも5年生です。その他の課や部の今後の活動が楽しみです。HPでその学習の様子を伝えていますので、がんばっている5年生の様子をみなさんも見てください。



6年生

この1学期、感染しない新しいくらしづくりの中で、何といたっても全ての活動の中心になって、学習に取り組んだのは6年生です。そこには、「下学年があこがれる6年生になりたい。」という思いや願いが常に込められていたと私は感じています。まだ学校になれない1年生への優しい声掛け、マスクをしながらも思いを伝えようとノーマイクで取り組んだ委員会のプレゼンテーション、2つの学年で交流し、協力して楽しく、笑顔いっぱいの集会にしようと取り組んだ七夕集会。どの活動も児童会目標「笑顔いっぱいの高揃小学校にしたい」という、みなさんの思いや願いが、1学期の高揃小のくらしの土台にありました。7月3日、私が6年生に「これからの学校行事をどう考えていくか」を話した時、ほとんどの人がその内容について賛成してくれました。しかし、それ以上に驚いたのは、自分達の事よりも「初めてのことや行事がなくなった1年生や宿泊学習が日帰りになった4・5年生がかわいそう、ましみず発表会の獅子踊りは3年生と是非一緒にしたい、1・2年生に高揃小の伝統を引き継ぐ気持ちをばくちたちを見て持ってほしい」等、下学年への優しさあふれる思いがあふれていて、思わず私は涙が出てしまいました。まさに、学年だよりの「全力 YELL キッズ」の名のように、全力で一人一人が応援者として、全校生みんな認め合い、励まし合い、声援を送り合える仲間をいこうという6年生を思いが込められていることが、すごくうれしいのです。2学期からもさらに、6年生を中心にして全校生と先生方で創りあげていきたい気持ちで今はいっぱいです。下級生のみなさん、6年生の学ぶ姿を2学期も見続けてください。

